

私たちの生活を水害から守る

# 鶴田ダム再開発事業がいよいよ大詰め！

ダムには、洪水調節(※)、かんがい用水、上水道用、発電用水など、さまざまな役割があります。その中で、鶴田ダムは、洪水調節と水力発電を目的とした「多目的ダム」となっています。

平成18年7月の大雨で、本市を含む川内川流域は、甚大な被害に見舞われました。これを機に、鶴田ダムでは洪水による被害を軽減するため、ダムの洪水調節容量を最大9800万m<sup>3</sup>(従来の約1.3倍)に増やす再開発事業に翌19年度から着手しました。

ダム機能が向上したことで、昨年度からすでに治水効果が発揮されており、今年度予算で全ての事業が完了する予定です。

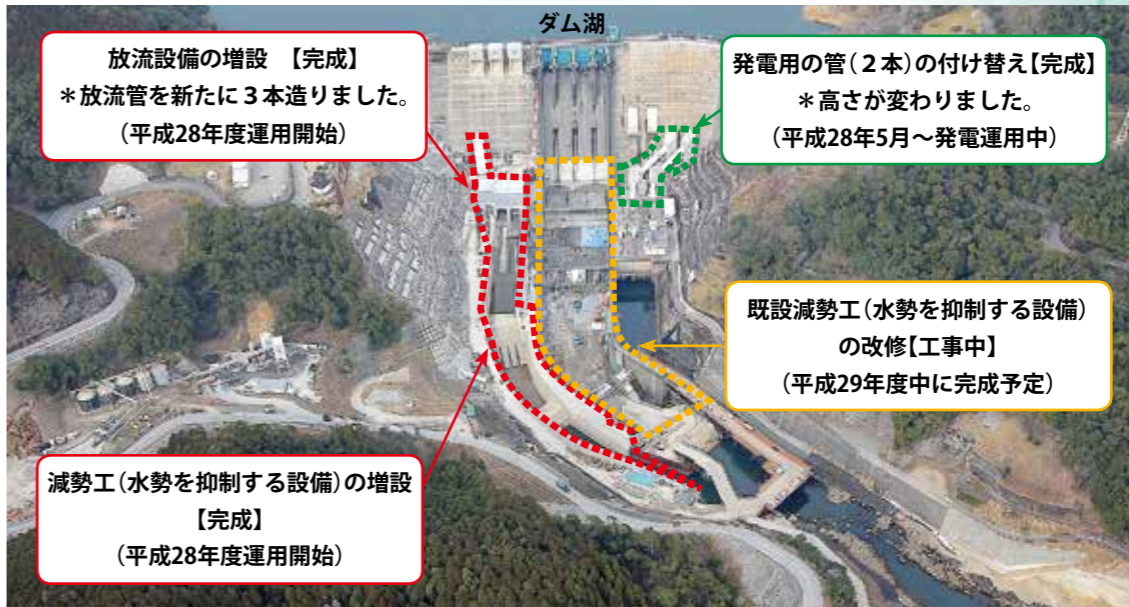
※洪水調節とは、大雨で川が氾濫しないように、流入してきた水をダム湖にためて、下流へ流す量を調節することです。

日頃見ることのないダムを見学してみませんか。事前に申し込むとダム内部も見学できます。申し込みは、問合せ先のホームページから。



ダム内部見学の様子

## 「再開発事業」で何が変わったの？

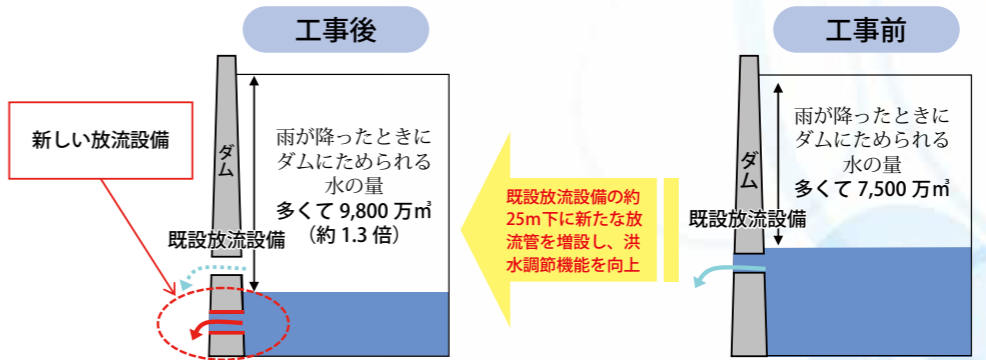


**放流設備の増設【完成】**  
\*放流管を新たに3本造りました。  
(平成28年度運用開始)

**発電用の管(2本)の付け替え【完成】**  
\*高さが変わりました。  
(平成28年5月～発電運用中)

**既設減勢工(水勢を抑制する設備)の改修【工事中】**  
(平成29年度中に完成予定)

**減勢工(水勢を抑制する設備)の増設【完成】**  
(平成28年度運用開始)



## 梅雨の季節 水害に備えよう！

- 川内川の防災情報は、いつでも・どこでもホームページで確認できます。
- 携帯から、レーダ雨量、河川の水位やダム情報、また、発表中の洪水予報などの情報を提供しています。  
携帯版 川内川河川事務所 防災情報  
<http://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/bousai/keitai/index.htm>
- パソコンやスマートフォンから、より詳しい河川の情報を提供しています。  
川内川河川事務所 防災情報  
<http://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/bousai>

【問合せ先】  
国土交通省九州地方整備局  
川内川河川事務所 工事課  
☎(22)3271  
ホームページ <http://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/>



# 国民保護

## 有事などに備えて



【問合せ先】本庁防災安全課危機管理グループ  
☎(23)5111(内線4931)

国民保護法には、万が一武力攻撃事態や大規模テロが起こった場合に、国民の生命、身体および財産を保護し、国民生活などに及ぼす影響を最小にするための国・地方公共団体などの責務や、避難・救助・武力攻撃災害への対処などの措置が規定されています。

### ●弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合は政府が関係する地域の住民に対して、全国瞬時警報システム(Jアラート)を活用して情報伝達します。また、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、携帯電話にエリアメール・緊急速報メールが配信されます。このような事態が生じた場合は、テレビやラジオなどを通じて情報収集に努めるとともに、

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。

メッセージが流れたら、次のような行動をとりましょう

- ▼【屋外にいる場合】  
近くのできるだけ頑丈な建物や地下街(室)などに避難する。
- ▼近くに適切な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏し、頭部を守る。
- ▼【屋内にいる場合】  
窓のない部屋へ移動する。困難な場合は、できるだけ窓から離れる。

●弾道ミサイル落下時の行動に関するQ&A(内閣官房国民保護ポータルサイトから引用)

Q ミサイルは発射からどのくらいで日本に飛んでくるのでしょうか。

**Q** 仮に、北朝鮮から弾道ミサイルが発射され、日本に飛来する場合、極めて短時間で日本に飛来することが予想されます。  
実際に、平成28年2月7日に北朝鮮西岸の東倉里(トンチャンリ)付近から発射された弾道ミサイルは、約10分後に、発射場所から約1600キロメートル離れた沖縄県先島諸島上空を通過しています。

なお、弾道ミサイルの種類や発射の方法、発射場所などにより日本へ飛来するまでの時間は異なります。

**Q** なぜ頑丈な建物や地下街などへ避難するのですか。

**A** ミサイル着弾時の爆風や破片などによる被害を避けるためには、屋内(できれば頑丈な建物)や地下街など(地下街や地下駅舎などの地下施設)への避難が有効だからです。

**Q** 自宅(木造住宅)にいる場合はどうしたらよいでしょうか。

**A** 近場に頑丈な建物や地下街などがあれば、直ちにそちらに避難してください。

**Q** 建物内に避難してから気をつけることはありますか。

**A** 爆風で壊れた窓ガラスなどで被害を受けまいよう、なるべく窓のない部屋へ移動し、できるだけ窓から離れましょう。

**Q** 弾道ミサイルの情報が伝達されたとき、自動車の車内にいる場合はどうすればよいでしょうか。

**A** 車は燃料のガソリンなどに引火する恐れがあります。車を止めて頑丈な建物や地下街などに避難してください。周囲にそうした場所がない場合は、車から離れて地面に伏し、頭部を守ってください。

**Q** 車から出ると危険な場合はどうしたらよいでしょうか。

**A** 高速道路を通行しているときなど、車から出ると危険な場合には、車を安全な場所に止め、車内で姿勢を低くして、行政からの指示があるまで待機してください。

**Q** 近くにミサイルが着弾したときはどうすればよいですか。

**A** 弾頭の種類に応じて被害の及ぶ範囲などが異なりますが、次のように行動してください。

- ・屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチなどで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難してください。
- ・屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉してください。

内閣官房国民保護ポータルサイト  
<http://www.kokuminhogogo.jp/>